



▲お召し列車御料車の
ラジエーター

▲外気処理機「ラデック」

▲温水ヒーター
「エルゴン」

▲業務用エコキュート

(3) 宇美町の工業生産のようす

① 昭和鉄工

宇美町の工業団地には昭和鉄工という会社があります。この会社が生まれたのは明治時代です。外国製の暖房装置しかなかった時代に鑄物製のボイラーやラジエーターの開発に挑戦し、日本で初めて実用化に成功した会社のひとつです。

明治天皇お召し列車の暖房器具を始め、戦前から大きな病院や公共施設に多くの昭和鉄工の製品が採用されてきました。現在でも台所やお風呂で使うお湯をつくるボイラーや、ビルの温度・湿度を快適にする空調機を中心としたさまざまな製品を展開しています。

まさやさんとせいこさんは昭和鉄工の工場の中を見学したところ、工場にはいろいろな工夫がしてあることに気づきました。



まさやさん

この工場では、製作の工程に工夫が見られるよ。例えば、製品が組み立てしやすいように順番に並べられているよ。



せいこさん

大きな車が製品を運べるように工夫もされているよ。

その他いろいろな面で工夫していることに注目してみよう。

安全面では、作業者にケガや事故が起きないようにするためのセンサーや正確に速く作れるロボットを使ったりしています。工程面では、忙しい時に他の職場への応援が頼めるように、いろいろな作業ができる人を教育しています。

環境面では、できるだけごみ（廃棄物）を出さない設計と製造法を採用しています。出たゴミは再利用できるように分別廃棄しています。

昭和鉄工



宇美橋 (高欄工事)

宇美町地域交流センターうみ・みらい館
(建築金物工事)

昭和鉄工 下田さんの話

人々の願いに合わせた開発

時代とともに変化する人々の生活は、た
ゆまない技術開発が支えています。新しい
技術を生み出すことは課題も多く、苦労の
連続ですが、お客様の要望や社会の動きに
あわせて開発することは重要なことです。特に安全面と
環境面については注意をはらっています。



下田さん

日本では台風や豪雨による大き
な災害が次々に起こり、地球温暖
化が原因の一つと指摘されていま
す。今のことだけではなく、未来
のことも考え、環境にも配りよし
た持続可能な社会をめざすことは
個人にとっても企業にとっても大
切なことです。



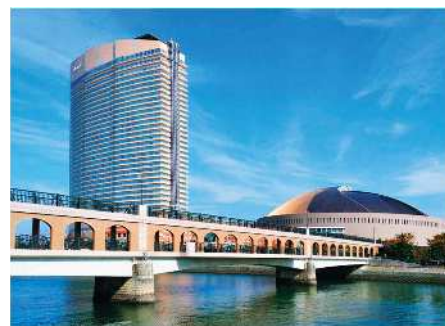
子安新橋 (高欄工事)



正法橋 (高欄工事)

ここで製造されているものは、家のまわりでは気づき
にくいかもしれません。

でも、わたしたちの知っている建物や街のいたるところで活用されているのですよ。



ふれあい橋 (高欄工事)



福岡大名ガーデンシティ (熱源空調工事)



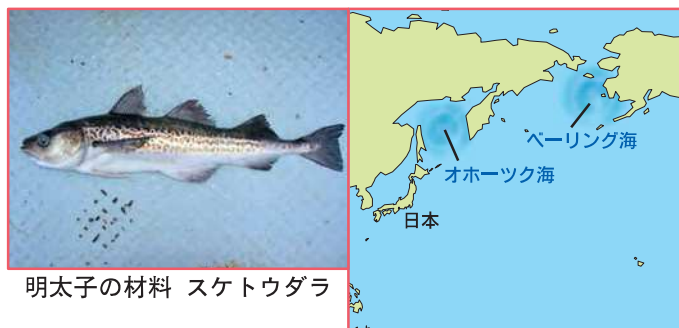
天神地下街 (建築金物工事)



東京ビッグサイト (熱源空調工事)

広島平和記念資料館 (熱源空調工事)





明太子の材料 スケトウダラ

②筑前福岡

筑前福岡では、昆布漬辛子明太子をつくっています。辛子明太子の材料はスケトウダラの卵です。卵はスケトウダラの親魚1匹から70gくらいしかとれない貴重な物で、とれる量も国内産は少なく、ロシアのオホーツク海やアメリカのアラスカ沖のベーリング海域と限られています。その貴重な卵を唐辛子等を使った調味液に漬け込み、味付けした物が辛子明太子です。

筑前福岡では、利尻昆布のだしを味を中心とした調味液に、選別されたスケトウダラの卵を漬けて熟成し、風味の良い昆布漬辛子明太子を作っています。



筑前福岡で作られる製品

明太子ができるまでにどんな工夫や努力があるか調べてみましょう。



明太子の製造過程



①調味液につける



②熟成させる



③品質を見きわめる。
目利きをし、重さをはかる。



④明太子のできあがり

明太子作りはすべて手作業になります。ここで働く人は衛生面に気を遣い、虫や異物はもとより、雑菌を防ぐために常に手や器具の消毒を行っています。しかし、9時から4時まで立ったままの作業のうえ、明太子の品質を保つために常に「目利き」をし、選別を繰り返さないといけないので、肩や首が痛くなるという苦労があります。これは、合成着色料を使わずに無着色の品質の良い明太子を作るための努力です。

こうやってできた明太子は、今では冷凍技術が発達して、全国にも宅配できるようになりました。